



# 鳥森小学校



令和7年度

## 学校だより 5月号

令和7年 4月 30日発行

153-0051

目黒区上目黒 3-37-27

TEL 03-3719-1794

FAX 03-3719-2857

校長 丸山 智子

心ゆたかで思いやりがある子 よく考えて進んで行動する子 からだも心もじょうぶな子

<http://www.meguro.ed.jp/meksmreh/>

## 気持ちのよい からすもりの子に

校長 丸山 智子

校庭の桜もすっかり新緑の葉に覆われ、新年度がスタートして最初のひと月が瞬く間に過ぎてしまいました。入学・進級して張り切っていた子どもたちも、そろそろ疲れが出てくる頃です。GWの4連休がありますのでゆっくり休んで、連休明けには元気に登校してほしいものです。

5月から、2年生の遠足、5年生のハケ岳自然宿泊体験教室と、7月まで校外学習が続きます。貸し切りバスの利用だけでなく、公共交通機関を利用する学年もあります。昨年度のことを思い起こしてみると、見学先で子どもたちが使用した机の上をきれいに片付け、机の位置をそろえ、椅子をきちんと中にしまつて退室しようとしたことを施設の方から褒めていただきました。また、中目黒駅で改札を出る前に集団で待機せざるをえず、周りに迷惑をかけていると思いきや、静かに待機していることを通りがかった方に褒めていただきました。子どもたちの振る舞いが見ていて気持ちがよかったのだそうです。子どもたちのマナーを守る振る舞いに、周りの方への気持ちや心が伴っていたのだと思います。

今はあまり聞かれなくなりましたが「しつけ」という言葉は、漢字で「躰」と書きます。身が美しいと書くこの漢字は、日本で作られた日本独自の漢字です。躰というと、親が子どもに礼儀・作法を教え込むイメージをもたれる方もあろうかと思えます。しかし、幼児期、学童期に家庭での躰により身に付いた「身を美しくする振る舞い」は、公共のマナーや集団の一員として適応する基礎となるものです。親が自ら範を示すことにより、子どもは<気持ちや心のこもった振る舞い>を学んでいきます。

学校でも礼儀や周りの方への心遣い、公共のマナーを守ることや集団生活におけるきまりを守ることの大切さを、学校の生活や校外学習を通して、子どもたちが自分のものとして身に付けられるようにしています。その基盤となっているのは、家庭での「身を美しくする躰」だと思えます。

校外学習という学校を離れた場や学校外の鳥森の地域は、子どもたちが、家庭、学校で培った<気持ちや心の伴った振る舞い>を実践し、さらに磨きをかけていく場となります。新しい学年での学校生活にも慣れ、からすもりの子どもたちの活動範囲はどんどん広がっていくことでしょう。子どもたちが、この地域でさらに成長していけるよう、保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

